

学級活動指導案の例

広島県立教育センター
企画部 安松 洋佳

- 1 日 時 平成 15 年○月○日
- 2 学 年 第 4 学年 1 組 35 名
- 3 題 材 もっときれいに、過ごしやすく - 4 の 1 かんきょうプロジェクト -
- 4 題材設定の理由

- 私たちは、毎日の暮らしの中で、よりよい生活環境を願い、その実現に向けて様々な工夫と努力を重ねている。ものづくりの現場において世界中に広まりつつある「カイゼン（改善）」「テイアン（提案）」、店頭をにぎわすアイデア商品の数々といった大規模で実利的なものだけでなく、夏の打ち水のように生活の科学と呼べるもの、さらには風鈴のように豊かな精神生活を紡ぎ出す伝統的な工夫に至るまで、およそ人間の生活のあるところにはすべてそのような営みがあったと言ってもよい。生活環境を見つめ、自らの智恵と活動で実際にそれを改善していく体験は、準備され無条件に享受することが自然である状況から一歩進んで、「よく見つめ、よく考えれば（環境は）積極的に改善することができる」という意識の芽生えを促す。このことは、自己効力感とそれに裏打ちされた確かな責任感をなくくみ、よりよい社会の形成者としての基礎的な資質を養うことにつながっていくものである。学校生活において導かれる側から導く側へと転換しようとしている第 4 学年後半の子どもたちにとっても、最も身近な生活環境である教室環境の改善に自主的・主体的に取り組む体験は、学級（学年、学校）という社会の一員としての意識を自覚的に高める活動である。また、各自のアイデアや取組みが様々な形で実現し、それぞれに友達の生活をよりよくする助けとなる過程を共有的に経験することで学級集団の凝集性を高め、集団の一員としての自覚を深めることのできる活動でもある。
- 本学級には、周囲の事象に関心をもち、積極的に関わろうとする児童が多い。集団としても友だちの意見を受容しようとする姿勢が感じられる。反面、話し合い活動では、衝突や反目を恐れて反対意見を表明できず、結果的に十分に納得しないまま活動に進んでしまったり、提案を批判的に検討してよりよいものにしていこうという機会を生かせないことがある。係活動、当番活動には真面目に取り組み、声をかけ合い助け合って活動する姿が見られるが、自ら新しい活動を企画したり、これまでの活動を積極的に改善しようとすることは少なく、与えられた役割を果たすことで満足していることが多い。ただ、学習面でも生活面でも事象の変化や特徴について自分なりの気づきを持ち、考えようとする姿勢は多くの児童に定着している。
- 活動に当たっては、係ノート（活動記録）の中の「気づき」欄から子どもに働きかけ、計画委員会と合同で話し合い活動を計画することで、特設の「プロジェクト」としての意識付けをする。また日常的に記録している「生活発見ノート」を活用し、どの児童も学級生活への自分なりの目的や願いをもとに具体案をつくり、それをもって話し合い活動に臨むことができるように個別の支援を行う。
話し合いの場面では、まずプロジェクトのねらいをしっかりと確かめ合い、より多くのアイデアを出し合った後、相互の関連性から集約したり、重要度、緊急度、実現性などの要素から選択したりすることを通して、目的をもって論理的に検討するという活動を体験させる。また、選択されなかった発案についても個々の生活の中に取り入れるなどの方法を示し、一人一人の自己効力感を高めていく。
さらに、国語科、社会科の単元および道徳の時間の学習内容と関連づけることで、活動の意義をより確かなものとするとともに、日常生活や将来の生き方について発展的に考えることができるようにしていく。

5 活動のねらいと評価規準

ねらい	教室等の生活環境を全員で改善する活動を通して、学級の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。			
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	学級生活の充実と向上を目指して、身の回りの諸問題に関心をもち、友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。	学級の一員としての自覚をもち、友達と協力しながら、学級生活の充実と向上を目指して考え、判断している。	話合いの活動などにおいて、自分の考えを発表し、友達の考えと比較したり、役割を分担したりして活動することができる。	話合いなどの活動を通して、学級内の組織づくりや生活上の諸問題の解決方法を理解している。

6 活動の流れ

	活動内容	児童の意識の流れ	関連する活動等	評価
活動の準備	○問題の収集 ・係活動記録から議題として取り上げることを話し合う（各係→計画委員会） ○話合い活動の計画 ・話合い活動の計画を立てる（計画委員会） ・話合いの連絡をもとに、「発見ノート」で生活を振り返る（全員）	いろいろなことを自分たちで進んでできるといいな。 クラスの周りにも自分たちでできることはないかな。 クラスで話し合って自分たちの活動をつくらう。 今までいろいろなことに気づいていたんだ。これならみんなでできそうだな。	【目標関連】道徳「自分のことは自分で」（1-(1) 節度ある生活） 【内容関連】国語科「『環境を守るくふう』をしょうかいしよう」	○学級生活の充実と向上を目指して、身の回りの諸問題に関心をもち、協力して取り組んでいるか
活動について話し合い	○話合い活動「かんきょうプロジェクト」活動の意義と目的について話し合う ○話合い活動「かんきょうプロジェクト」活動の具体的内容について話し合う	力を合わせて、身の回りをもっと過ごしやすくしよう。自分たちで考えて、自分たちでやるから意味があるんだな。 ○○さんのアイデアはすごいな、これならよくなるよね。私の案は　さんの案と一緒にしたらうまくいきそう。今回は選ばれなかったけど、自分では続けていきたいな。		○学級の一員としての自覚をもち、学級生活の充実と向上を目指して考え、判断しているか ○自分の考えを発表し、友達の考えと比較しながら話し合っているか
活動	○「プロジェクト」活動 小グループでそれぞれの「プロジェクト」の活動計画を立て、実施する	すごいな、雰囲気が変わった。 ○○さんはとてもがんばるなあ、いままで気が付かなかった。みんなで力を合わせたら本当にできたよ。こんなふうになればいいの。	【内容関連】社会科「地いきの発てんにつくした人」 自分たちの住む地域をよくしていくってすばらしいな。	○役割を分担し、目的を考えながら活動できているか ○活動を通して、学級内の生活上の諸問題の解決方法を理解できているか
振り返り	○振り返り 活動を振り返り、感想と今後の生活に活かしたいことを書く	これからも、身の回りをよりよくする活動に、みんなで進んで取り組めるといいな。	【目標関連】道徳「進んで活動すると」（4-(4) 勤労・社会への奉仕）	○友達と協力して意欲的に取り組もうとしているか

7 本時の目標

学級生活の充実と向上を目指して、自分の考えを発表し、友達の考えと比較しながら話し合うことができる。

8 指導過程

	児童の活動	指導上の留意点	評価【方法】
導入	○開会宣言をする ○学級の歌を歌う ○前時の話し合いを振り返る ・力を合わせて、身の回りをもっと過ごしやすいしようと話し合った ・自分たちで考えて、自分たちでやるから意味があることを確かめ合った	○話し合いへの構えができているか 確かめ、必要に応じて個別に声かけをする	○「生活の充実と向上」が意識されているか【観察】 ○自主的な活動への意欲を持つことができるか【観察】
話し合い	○議題を確認する 「4の1かんきょうプロジェクト」のくわしいなかみを決めよう ○各自の案を発表する (準備したカードは黒板に貼る) ・「日替わりクリーンタイム」はどうか ・ブックスタンドをいくつも作るといい ・「身近な草花コーナー」を作ろう ・「片づけお助け隊」を結成したい 等 ○提案を整理する ・似ている案を合わせたらどうか ・この案ならみんなでできるよ ・この案は、児童会の目標につながるよ ・いまのクラスには、これが必要だと思う ○絞られた案ごとに提案者を中心としたチームを編成する ・この案はもう少し人数がいた方がいいよ ○チームごとに活動計画を話し合う ○今後の活動予定を確認する	○全員が具体案を準備して参加できるように事前に「生活発見ノート」を活用し助言しておく ○どの案も受容的に受けとめる ○友達の案に対する感心や納得の反応を積極的に取り上げる ○「どの案も実行すれば生活の充実・向上につながることを認め、その上で、「学級プロジェクト」として整理する必要があることをおさえる ○提案者の個人名でなく、案の名前で呼び合うことを司会児童を通して確かめさせる ○やりたいかどうかではなく、どの案も成功させるということが大切であることをおさえる ○実現に向けて必要なもの等は整理しておくことを司会児童に確認させる	自分の考えを、目的や長所、願いなどを明らかにしながら発表することができるか【発言】 ○友達の考えを受容的に受けとめているか【観察・発言】 「学級生活の向上」という目的意識をもって自分や友達の考えを比べ合わせながら考える、判断することができるか【観察・発言】 ○学級の一員としての自覚をもって活動しているか【観察・発言】
まとめ	○活動の感想を出し合い、「生活発見ノート」に書き込む ・自分の案が実現しそうでうれしい ・早く活動に入れるようにしたい ・みんなのためになれるといい ○次回予定を確認し、閉会宣言をする	○どの感想も受容的に受けとめる ○活動の実施に向けた励ましの言葉かけをする	○学級生活の向上をめざす活動に意欲を持つことができるか【観察・発言、ノートの記述】